

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～
 子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

ちゅうがくせい
 『やがて中学生になる「あなた」へ』

こう ちょう たかはし すずむ
 校長 高橋 励

こいてい む こうに見える 5年生の 田んぼが
 黄金色になりました。となりの田んぼは
 稲刈りも終わっています。実りの秋です
 ね。郷小の校章にも描かれている稲穂。
 下へとたわむのは成長のあかしです。

笑るほど 頭を垂れる 稲穂かな

さて。後期がはじまりました。前期の振
 り返りはできましたか？

これまでできなかったことが少しでもできるようになった /
 人から言われなければ気が付けなかったことに気づけるように
 なった / 気づいても行動に移せなかったことが自分からでき
 るようになった / 自分の考えや思いを相手が受け取りやす
 い話し方で伝えられるようになった / それまであまり気にし
 なかった周りの人の気持ちに心を向けて、やさしくかわらう
 と思えるようになった…

6年生の皆さんにとっては、ここから卒業ま
 での残りの一日一日が、小学生としてのまとめ
 の時間になります。(でも、よく考えてみれば、それ
 は、5年生から1年生までのどの学年の人にもいえることか
 も。)いつか、小学校を卒業する日にむけ
 て、しっかりと自分を豊かにしていきたい
 ですね。

 ところで、夏休み明けからひと月、わた

私たちは、命と生活を守るために、人に言
 われた「やっていいこと・やってはいけないこと・
 取り組まなければならないといわれたこと」に
 取り組んできました。9月30日に緊急事
 態宣言が解除されてから2週間ほどすぎ、
 テレビのニュースからは「制限の緩和」と
 いう言葉がよく聞かれます。旅行やレジャ
 ー、イベントや飲食…。学校の生活であな
 たが経験したちょっとキュウクツな感じ、
 実はオトナも感じています。

さて。ところでこれからあなたは、どの
 ように生活していこうと思っっていますか？
 校長先生には、今、子どももオトナも、
 「なりたい未来に近づけるため、自分でよりよい
 方法を考え、判断しながら自分の行動を決め
 ていく」ことがどれだけできるか、それを試
 されているように思えます。「人に言われる
 から」ではなく、なりたい未来を手に入れ
 るために、あなたが自分で選んでできるこ
 とはどんなことか、考えてみてください。

そういえば衣替えはすみしましたか？ぐん
 ぐん成長している皆さんには、これまでの
 服はキュウクツに感じられるかもしれませ
 んね。今年度もあと半分。衣替えに合わせ
 て、生活も少し見直してみませんか？